

宮崎県拠点だより



宮崎県内における輸出の取組事例

高品質で美味しい九州産の茶を海外に

「南九州輸出茶コンソーシアム（小浦製茶）」の取組み

宮崎市の小浦製茶は、地域の12戸で「オーガニックティーみやざき」という有機茶生産グループ(12戸92ha)を組織して輸出用有機荒茶を生産している。

荒茶は、鹿児島県の業者が仕上加工する。更なる輸出販路拡大を目指して、「南九州輸出茶コンソーシアム」を立ち上げ、農林水産省が推進する農林水産物、食品輸出プロジェクト（GFP）に参加している。

コンソーシアムでは、今後、九州のお茶の価値をもっと海外に知ってもらうとともに、茶の流通を簡素化し、流通コストの削減に取り組んでいる。直接産地情報を伝えて、消費国の業者との関係性を深めて現地の望む商品展開につなげて、新たな販路拡大を進めている。

また、生産グループでは、クラウド方式（ネット上で使える方式）の生産管理ソフトを導入し、生産管理状況を実需者等に開示していく予定。



みかん農家と共に新たな海外市場を開拓

株式会社 ネイバーフッド の取組み

宮崎県日南市で温州みかんの生産販売を行っている(株)ネイバーフッドは、みかん栽培を始めて74年目、2019年に法人化した。社員数は、正社員5名で短期アルバイトは17名である。

温州みかんを令和2年から台湾に輸出を開始。令和3年は、自園の栽培面積が12haで、契約農家12戸を合わせた収穫量は、270tを見込む。

輸出を始めたきっかけは、以前から友人であった台湾の商社の方と偶然展示会でお会いして、それからスタートした。

今後の目標は、契約農家と一緒に栽培面積を増やし、台湾からの強い需要に応えられる体制を整備して行くこと、農薬等の適性な使用により、安全で安心なみかんを海外に供給していくこと、β-クリプトキサンチンの機能性食品表示※をしていくこと、雇用を安定させるため加工品などの取組みを行いたい。

さらに、令和4年2月、輸出促進法に基づく輸出事業計画が認定された事で、香港・マカオ・マレーシア・シンガポールへも販路を広げていく予定。



※「機能性表示食品制度」とは

国の定めるルールに基づき、事業者が食品の安全性と機能性に関する科学的根拠などの必要な事項を、販売前に消費者庁長官に届け出れば、機能性を表示することができる制度。

「みどりの食料システム戦略」技術カタログ

近年開発された技術で、みどりの食料システム戦略で掲げた各目標の達成に貢献しうる、現場への普及が期待される技術をまとめました。

※ 農水省HPに掲載されています。（「みどり技術カタログ」で検索）

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/catalog.html>

● 作物別に選択のうえ御覧いただけます。（一部紹介⇒） 【主な作目の技術名】



* 掲載内容の詳細につきましては、各カタログの問合せ先まで！

- 水 稲 ・自動運転田植え機
- 露地野菜 ・土づくりと減肥のための緑肥利用マニュアル
- 施設園芸 ・赤色LEDによるミナミキイロアザミウマ防除
・施設果樹におけるヒートポンプ機能活用の効果
- 畜 産 ・肥育素牛を省力・低コストで生産できる周年親子放牧技術体系

ジャンボタニシ (スクミリンゴガイ) の防除対策 ～春夏編～

- 田植え前の石灰窒素（発生量が多い場合に実施）
- 水口網の設置（水路に発生している場合に実施）
- 田植え時の薬剤散布（発生している場合に必ず実施）
- 田植え後の浅水管理（発生している場合に必ず実施）



※ 詳しくは、農水省 HP を!!（「ジャンボタニシ」で検索）

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/siryou2/sukumi/sukumi.html>

= 準備金制度を活用されている農業者のみなさまへ =

農業経営基盤強化準備金制度の大臣証明書の eMAFF によるオンライン申請がはじまりました。

- eMAFF とは、「農林水産省共通申請サービス」の通称です。
- eMAFF を活用するためには、複数の行政サービスを 1つのアカウントにより利用することができる認証システム「gBizID」の登録が必要です。

※ 詳しくは、農水省 HP を!!（「eMAFF」で検索）

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/dx/emaff.html>



オンライン申請のメリット

- ポイント1 ご自宅のパソコンから申請可能に！
- ポイント2 紙の管理が不要に！

農業経営基盤強化準備金制度の詳しい手続きは、インターネットで検索 ↓ ↓

農業経営基盤強化準備金

検索

宮崎県拠点地方参事官室 ホットライン
TEL 0985-24-2365
FAX 0985-27-2035

本紙の記載内容等についてのご質問、農政に関すること、事業や制度への質問・ご意見等がございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

(〒880-0801 宮崎市老松2丁目3-17)